



尚 操



〈発行所〉
 鳥取県立倉吉高等学校
 尚 操 会
 〒682-0925
 鳥取県倉吉市秋喜20
 倉吉西高等学校内
 0858(28)-1811
 印刷 (有) 矢積印刷
 0858(22)-5312

▶ 日本一の賞状とカップを
 持って笑顔の加藤君(S3)



▲全国高校選抜大会男子個人で日本一を射止める



▲ぎふ清流国体少年1kmタイムトライアルで力走する佐伯君 (現在大学1年生)

西高生 自転車、弓道で 日本一



◀ 優勝し、鳥取県スタッフに笑顔で迎えられる

花・水・木

私は第二十三回(昭和五十一年)卒業生です。高校二年生の途中までは、余戸谷町校舎。二年年の三学期からは、秋喜新校舎で学びました。旧校舎では、毎日ヒシクラさんの香ばしい醤油の香りとともに学習に取り組み、「ウイーン」の森」と呼ばれた場所で憩いながら部活動に取り組みました。

私の学年の男女の数は、男子四十名、女子約二百六十名でした。先輩方の比率は、当然もつと男子が少なく、女子が多かったです。部活でも男子の先輩に怒られた記憶はありませんが、先輩のお姉さま達に怒鳴られた記憶があります。

二年生の十二月に校舎の引っ越しをしました。余戸谷町から秋喜まで、主に理科の実験道具を運んだことを記憶しています。新校舎で一つ上の先輩の卒業式を行い、いよいよ最高学年となった私達の新校舎での生活が始まりました。新築移転祝賀の意味もあり、学校祭を前代未聞の六日間にわたって開催したりと、当時の思い出が今でも甦ってきます。

その後、昭和五十七年(六十一年、平成八年)十八年。そして今年からと、高校在学中を含めると四回目の母校での生活ということになりました。

来年創立百周年を迎えるというこの節目の時に母校にいられる喜びを胸に秘め、創立百周年記念事業が成功裏に終わるよう精一杯努力しますので、多くの皆様のご協力をよろしく願います。

西高二十三回生 広見 徹



創立百周年に向けて 全尚操会員の力の結集にご協力を

尚操会会長 川田 良雄

いよいよ創立百周年記念事業の概要が固まり、中核となる記念式典と祝賀会の開催を平成二十六年十一月九日(日)と決定いたしました。会場は、倉吉未来中心大ホールで記念式典を、小ホールとその周辺で祝賀会をと考えており、皆様とともに盛大に祝いたいものです。

倉吉高等女学校の三十四年間、

倉吉西高等学校の六十五年間の歩みは、現在の倉吉西高の礎となつてその土台をしっかりと支えています。具体的には、学校の教育活動に対する積極的な姿勢と勉学や部活動などをはじめとする在校生による諸活動の融合とその成果。さらにはPTAと学校の連携により、諸行事等で確かな実績をあげている点など、鳥取県内で先進的な活動を展開しています。我々同窓生としても、学校の発展や在校生の活動を支えていきたいという思いを強く持っています。

その意味からも、今回の募金活動並びに記念事業は、それらに大いに資するものと確信しており、その目玉事業として中庭の整備を予定しています。現

在、倉吉西高は校舎の耐震工事を行つており、今年度は管理棟と特別教室棟の工事に取り掛かっています。この工事が終わつた来年度には、中庭の池があつた箇所に、野外ステージを設置する予定であり、西高祭での生徒の活躍の場として、また放課後の諸活動の舞台として活用していただければと希望しています。

こうした計画を実行に移すためにも、尚操会員の皆様のご協力が欠かせません。すでに鳥取県東西部、及び県外にお住いの会員のお手元には、創立百周年記念事業の募金をお願いの文書を送らせていただいています。鳥取県中部地区の会員の皆様には、夏以降に各支部の支部役員、地区世話人の方にご尽力いただいで、募金をお願いに伺います。この場をお借りしまして、募金活動へのご協力をお願いいたします。

さて、去る六月九日(日)、大阪道頓堀ホテルにて、第九回尚操会関西支部総会が、関西支部長の伊吹美賀子さんをはじめ約六十名の参加を得て、盛大に開催されました。地元倉吉からは、

倉吉西高より松本校長先生、足羽教頭先生、事務局の田端先生が、尚操会からは入江副会長(百周年記念事業実行委員長)、竹尾副会長、百周年記念事業実行委員会より、中島さん、そして私の七名が参加しました。また、来賓として鳥取県関西本部本部長の米田裕子様(西高二十二期)、倉吉東高校関西鴨水会長村岡様、鳥取中央育英高校同窓会関西支部長山脇様にもご出席いただきました。

総会、懇親会では創立百周年記念事業の話題が多く、事業内容や募金をお願いなどを説明いたしました。参加者の方々からご理解をいただき、大変心強く思っているところです。関西支部の結束の強さ、故郷、母校へ寄せる思いなどをしっかりと受け止め、今後の活動をともに取り組んでいかなければと、帰路参加者で話し合った次第です。来年度に迫った、節目の百周年に向けて、全尚操会員の皆様のお力をお借りしなければなりません。どうか重ねてご協力のほど、よろしくお願いいたします。



良き生活習慣なくして、 学力の向上はあり得ない

校長 松本 清治

本年度の教育目標に、次の三つを定めました。

- 一、良き生活習慣の確立
- 二、良き生活習慣とは、
・ 爽やかな挨拶が出来ること、
・ 身の回りの環境を整えること
・ (服装を整える、掃除が出来る)
- 三、時間を意識した行動がとれること。(四点固定、遅刻をしない、提出期限が守れる)

二、学ぶ意味を理解させる授業の構築(授業改革→意識改革) 何のために学ぶのかを理解させる授業↓分かる楽しさ

三、人間力を高める生徒指導
自分一人がではなく、みんなが幸せになるために自分の命をどう使うのか、命の使い方

(使命)を明確にする指導(キャリア教育・進路指導)
「みんなが幸せになるために頑張れる力、それが人間力」

最初の目標は、本来高校で目標とするものではありませんが、「良き生活習慣なくして、学力の向上はあり得ない」という言葉もあるように、良き生活習慣の確立はとても大切なものであ

り、人として生きていく上でも基本となるものです。この生活習慣の上に、しっかりとした知識を身に付け、様々な体験活動や探求活動を通して、社会に貢献できる人材を育成しています。

部活動では、昨年自転車競技部の佐伯君と弓道部の加藤君が日本一となりました。野球部も夏の大会でベスト4となるなど、西高の生徒が注目されています。学校は耐震工事のまったただ中で、昨年度は教室棟、今年度は特別教室棟が工事です。校舎全体が防音シートで覆われ、光もほとんど入らない状態で十二月まで工事は続きます。一部内装工事も行われるため、完了後はきれいな校舎となります。また、この耐震工事に合わせて中庭の池は取り除かれ、百周年記念事業で新たに野外ステージ等のスペースができあがり、西高祭等の野外イベント会場になる予定です。イベントだけでなく、休憩中か放課後に生徒達が活動できる空間にもなり、生徒も職員も完成を心待ちにしています。

いよいよ来年は百周年です。募金等いろいろお世話になりますが、これからもご支援ご協力よろしく願います。



創立一〇〇周年記念事業の成功を

創立一〇〇周年記念事業 実行委員長 入江 誠
(西高二十六回生)

創立一〇〇周年記念事業まで、いよいよ残すところ一年四ヵ月余りとなりました。平成二十四年度尚操会総会にて、事業内容や予算規模を提案し、承認をいただきました。

五月十二日には、尚操会支部長・副支部長の皆様にお集まりいただき、記念事業の概要及び予算案・募金体制について説明させていただきました。

また、五月十九日には、PTA総会にも出席させていただきました。保護者の皆様にも創立一〇〇周年記念事業の概要・募金体制について説明するとともに、今後とも「地域に根差した学校」、「記念事業を通して地域発信する学校」であり続けることの意義などをお話しいたしました。さらに六月九日には、尚操会関西支部総会にも、川田会長・実行委員会のメンバー・学校側も含めた七名で出席し、概要説明及び募金のお願いをしてきたところです。

すでに、県外尚操会会員及び中部地域外の会員の皆様方には、趣意書及び入金書を送付済みであり、募金活動を始めているところです。中部地域におきましては、支

部長・副支部長の皆様を中心に募金活動を進めて参る所存であります。

出費多端な折ではありませんが、大きな節目である一〇〇周年記念事業成功の為、皆様の絶大なご支援をお願いいたします。

百周年記念事業の一環にイベントがあります。来年度に迫った式典、祝賀会などを周知し、機運を高めるという目的で計画をいたしております。具体的には今年の秋以降に、学校行事とタイアップする内容などを考えております。詳細につきましては、今後決定次第ご案内いたします。

支部交付金 クラス会補助金の案内

中部地区内各部におかれましては、今夏に会合を予定されている支部が多いのではないかと思います。

尚操会の規定では、支部総会に対して一万円の補助をしております。また、クラス会等についても一クラスにつき五千円の補助をしております。

それぞれ、会の案内文書、参加者名簿とあわせて申請書(倉吉西高事務室にあります)を提出いただくと、準備が整い次第補助金をお渡しいたします。

※クラス会補助金は一クラス十名以上の開催が条件です。
※学年会の開催は五千円×クラス数となります。

支部だより

関西支部

平成二十五年度尚操会・関西支部総会に参加して

去る六月九日(日)、松本校長、川田尚操会長をはじめとして、尚操会役員、創立百周年記念事業実行委員会委員、教職員の総勢七名が倉吉から出席しました。会場では、準備に追われながらも三年に一度の関西支部総会の開催ということで、旧交を温める関西支部役員の皆さまの熱気と元気が、ひしひしと伝わってきました。

総会では、伊吹関西支部長のあいさつに続き、来賓紹介並びにあいさつ、会計決算報告・新役員の承認と滞りなく進行しました。続いて行われた懇親会では、県関西本部長米田裕子氏の講話がありました。「とっとりうっとり」をキャッチフレーズに、企業誘致や様々な交流事



業企画を實踐して、鳥取と関西の太いパイプを築いておられる様子が詳しく紹介されました。

その後、平成二十六年度の創立百周年記念事業の概要について、入江実行委員長から説明があり、会員の皆様へのご協力・ご支援をお願いしました。



会場に集った皆さんが、三年後の再会を約束してお開きとなり、我々、倉吉から参加した者も、関西支部の熱い「倉吉魂」・「西高魂」を感じながら帰路につきました。

(連携推進グループ) 田端 康

クラス会だより

元気で明るい 自慢のクラス

記

▽とき 平成二十五年五月二十六日
▽ところ 水明荘
五十四名中四十八名の近況報

告があり、十四名の参加でした。ここ三年連続で開いているので、少しでも多くの思いで準備しました。

クラス会はいつも通りとてもにぎやかで順調にカラオケも飲み物も進みました。カラオケに合わせてわかフラダンスで総おどりをし、すっかり心身共にリラックスして高校三年生に戻りました。

司会者よろしくこの間に次回の幹事、京都あたりでとすんなり決まり二次会へ移りました。あとは、楽しい「ちよつと聞いてエー」のおじゃべりタイムです。五十四名全員元気で明るくやっている自慢のクラスです。翌朝スカッとした顔で湖畔を渡る風を心地良く受けながら「ありがたう、またね!」と手を振りました。

西高十五回生 小谷 公子

神戸でクラス会開催

記

▽とき 平成二十四年六月十七日
▽ところ 神戸 シーパール須磨
紫陽花が大輪の花を咲かせるこの頃です。
平成二十四年六月十七日〜十八日初めて神戸(シーパール須磨)にて一泊、泊まりでクラス会を開催しました。

平成25年度 尚操会総会案内

とき 8月18日(日)
 ところ 倉吉シティホテル
 総会 10時から
 講演会 11時から
 演題「これまでの学びとこれからの学び」
 キャスタリア株式会社 代表取締役 山脇 智志氏
 記念写真撮影／懇親会 12時～
 会費 3,000円

講師紹介 山脇 智志(やまわき さとし)氏 (倉吉西高第35回卒)

略歴

昭和45年(1970年)鳥取県生まれ。昭和63年倉吉西高卒。国学院大学卒。英語通信教育会社勤務を経て、その後ニューヨークへ留学。Radio Pacific Japan (Los Angeles, CA) に勤務しネットとFMラジオのメディアミックスによる番組を制作。その後U.S. Japan Business News Inc. (New York)のマーケティング／セールスディレクターを経て、2000年にBusium Inc. をNew Yorkに設立。2005年4月より本社移転で東京に移り、ネットでの音声コンテンツ販売事業の担当役員を経て同年11月末同社退社。キャスタリア株式会社を設立し、同社代表取締役就任。

前日の雨が嘘のように当日は
 お天気も回復、安心しました。
 倉吉組は、ならば花月など大
 阪を堪能して帰られたのでは。
 十九日は、台風の影響でスー
 パーはくとも運休。一日遅れて
 いればどうなっていたのか？冷
 や汗ものです。これも皆様の普
 段のおこないが良いからでは：
 この度はクラス会に初参加が
 三名おられました。四十四年ぶ
 りの再会：すぐに高校時代に戻
 り「クラス会に来て良かった。
 ありがとう!!」という言葉をか
 けていただきました。
 宴会が終わり部屋へ帰りまた

みんなでおしゃべり。楽しい時
 間を過ごしていただけたでしょ
 うか。

幹事としては無事にクラス会
 が終わったことは皆様のお力添
 えがあったからだと思っていま
 す。本当にありがとうございま
 した。長雨の季節でもあります
 ので体調を崩さないようにお気
 をつけください。最後に次回ク
 ラス会は倉吉にて開催とのこと
 でした。

西高十五回生 山本 仲子
 中能満里子

心のオアシス クラス会

記

▽とき 平成二十四年六月十六日
 ▽ところ 鳥取砂丘センター
 二年毎のクラス会を重ねて数
 十年。毎回ご出席の担任土井公
 夫先生を欠いてより二回目。県
 内外十一名七十歳を前に無病い
 や二病息災と、雨を追いやりパ
 ワー全開の集い。鳥取山下様の
 発案でジオパーク遊覧、砂像満
 喫、宿泊地で歓声と共に眺めた
 海と砂丘の光景。尚操の理念を
 いただいた卒業から五十年、た
 くさんの別れと出合いの織りな
 す人生の中、折々のクラス会は
 心のオアシスとなっています。
 今回は三朝にて、See you
 again!

西高九回生 松村 豊子



自転車部顧問談話

佐伯君はS1の時から国体で
 入賞し、三年連続で国体に入賞
 しました。このことは倉吉西高
 初の快挙でした。佐伯君は毎日
 休むことなく練習を続けました
 が、特に、自分の限界ぎりぎり
 まで追い込む姿は、日本一にな
 るという意気込みがひしひしと
 伝わり、とても印象深く残って
 います。優勝タイムは大会新記
 録でした。西高での取り組みが
 日本一の活躍の原動力となった。

弓道部監督談話

加藤君の全国高校選抜男子個
 人優勝は、鳥取県高校弓道史上
 初の快挙となりました。予選・
 準決勝と修正を重ねて、決勝射
 詰四射目までの十二寸的(三十
 六cm)から五射目以降の八寸
 (二十四cm)になっても、的の
 ど真ん中
 を射続け、
 まさに圧
 巻の優勝
 でした。
 最高の
 舞台で、
 みごとな
 精神力と
 修正能力
 を発揮し



弓道部男子も全国高校選抜大会で、男子団体5位入賞

ことは、今
 後すべての
 西高生の自
 信につながる
 と思います。

佐伯君は
 現在、大学
 に進学して
 自転車競技を続けています。日
 本を代表する選手として、今後
 も活躍を期待しています。



自転車部顧問 福井 敬司

てくれました。また男子団体も
 一回戦で十二射皆中で勝利する
 などして第五位に入賞、倉西弓
 道の存在を全国に示せた大会と
 なりました。
 地方の小規模校からでも日本
 一を目指せるということが他の
 生徒にもよい励みとなると思い
 ます。これからも上位目指して
 がんばります。

弓道部監督 福光 善太

◎◎あとかぎ◎◎

この前まで、まだまだ先と思っ
 ていましたが、いよいよ来年に
 創立百周年が迫ってきました。
 準備に追われる今日この頃です。

(事務局)